

Q 3 古くなった水道管による漏水や事故の心配はないの?

A 古くなった水道管は、管が割れて水が噴き出し、突然の断水や道路冠水の原因になることがあります。そのため、市では計画的に新しい管に更新しています。一方で緊急的な補修体制も整えています。もし道路で水漏れや不審な水たまりを見つけたら水道施設課 ☎ 06 (6383) 1525 または報告フォーム △水道管を更新する工事の様子 (右記 QR) へご連絡ください。皆さんの迅速な通報が大きなトラブルを未然に防ぐことにつながりますので、ご協力をお願いします。 △報告フォーム

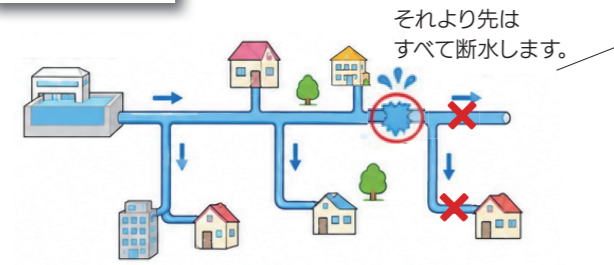


緊急工事などでご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

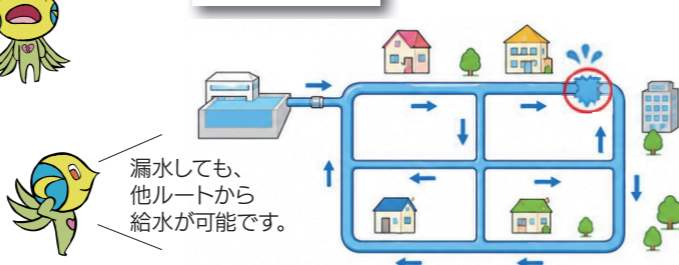
Q 5 さらに「安定した給水体制」をつくるための工夫はあるの?

A 水道管を網の目のように連結し、二方向以上から給水できる仕組み(ループ型)を進めています。万が一、1カ所で漏水しても別のルートから水を送れるため、断水エリアを最小限に抑え、安定した供給が可能な給水体制にしています。ルートを工夫することで、災害に負けない水道環境を構築しています。

【一方向型】



【ループ型】



Q 4 コストを抑える工夫はしているの?

A より効率的な工事方法を検討しています。たとえば水の使用量に合わせて水道管のサイズを見直すことや、これまでの「ダクタイル鋳鉄管」に加え、耐震性が高く工事期間が短くて済む「高密度ポリエチレン管」を活用することで将来的なコスト負担の削減を目指しています。

ダクタイル鋳鉄管	高密度ポリエチレン管
頑丈さと「抜けない・折れない」構造を併せ持ち、街の大動脈を守ります。	継ぎ目を融着して一体化し、地震や漏水を防ぎます。錆びず、清潔な水を届ける優れた素材です。



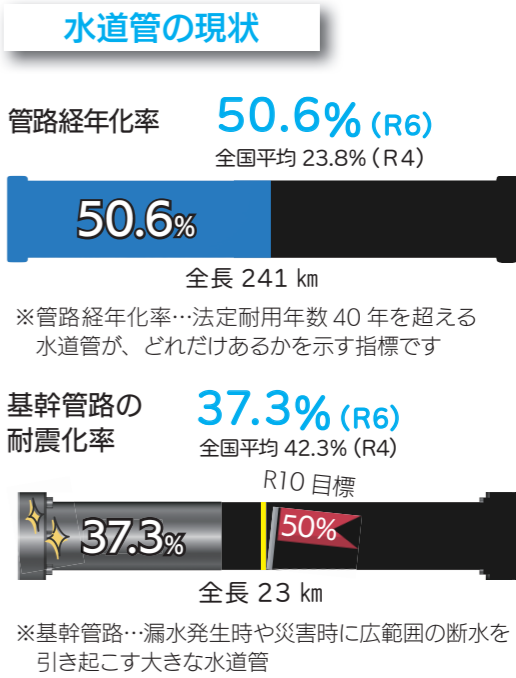
水道管のヒミツ Q & A

私たちが毎日使う水は、地面の下を通る水道管から届いています。普段は見えないところで水道管の老朽化はどの程度進んでいるのでしょうか。古い管を入れ替える時はどんな工夫をしているのでしょうか。皆さんの日常生活を守るための取り組みを、Q&A形式でご紹介します。問合せ 水道施設課 ☎ 06 (6383) 1525 へ

Q 1 私たちの市の水道管、どれくらい老朽化しているの?

A 市内の水道管 (241km) のうち、約半分の121kmが法定耐用年数 (40年) を超えています。市内全体では毎年約3kmのペースで耐震管への更新を進めています。残りの水道管についても今後順次更新していく必要があり、皆さんにいつまでも安全に水をお届けするため、計画的な更新工事の推進に注力していきます。なお、地震に強い管へ更新した割合 (耐震化率) について、特に重要な口径300mm以上の大きい管 (基幹管路) では、37.3% (8.6km) が完了しました。

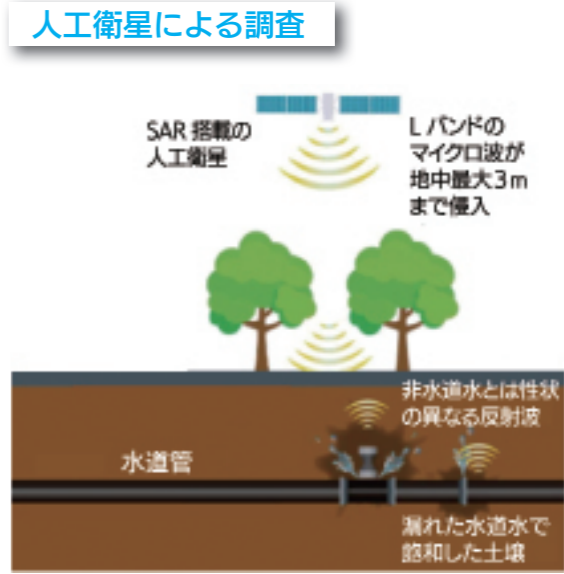
これからも計画を立てて、着実に更新していきます。



Q 2 どの水道管から優先的に新しくしているの?

A 耐用年数を超える水道管やこれまでに漏水が発生した箇所などのデータを分析した水道管を優先しています。また、最新のAI技術による劣化予測診断や、漏水箇所を推定するため人工衛星を活用した調査などの実施により市域全体の調査を効率化しています。これにより、優先度の高い場所を短時間で的確に特定し、効率的かつ計画的な更新と維持管理を進めています。

最新技術を用いて、調査をしています。



水道週間 (6/1 ~ 6/7)
今年のスローガンは
「たいせつな水道守ろう 未来へと」

水道は私たちの暮らしに欠かせない、24時間休むことのない大切な生活基盤です。この機会に、安全でおいしい水が届く仕組みや、老朽化・災害対策などの課題を知り、水の大切さを一緒に考えてみませんか。

みずから備えよう
防災ボトル
プレゼントキャンペーン
期間: 令和8年6月1日~6月20日

申込みはこちらへ